

## 2017年度 第1回 学校関係者評価委員会

日時： 2017年6月7日（水） 15:00～16:30  
場所： 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 1階 会議室  
出席者： 柏村 雅実 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 卒業生保護者  
浴森 公子 岩国市医療センター医師会病院 看護部長  
白銀 優子 岩国中央病院 総看護部長（本校看護学科第3期卒業生）  
山崎 幹 岩国第一病院 事務部顧問  
半田 達也 介護老人保健施設 みどり荘 事務長  
福水 美恵 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 特別顧問・校長補佐  
江見 享子 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 副校長・保健看護学科学科長  
金澤 暁民 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 自己点検・自己評価委員会委員長  
沖島 均 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 事務長  
進行： 福水 美恵  
記録： 沖島 均

配布資料： 1) 2016年度および2017年度岩国YMCA国際医療福祉専門学校 運営目標  
2) 2016年度岩国YMCA国際医療福祉専門学校 自己評価結果報告  
3) 2016年度岩国YMCA国際医療福祉専門学校 自己評価表  
4) 学生の実態・満足度調査  
5) 2017年度学生便覧  
6) YYカフェ（認知症カフェ）チラシ

・委員会を始める前に、福水特別顧問から今年度の委員会から江見享子副校長（保健看護学科学科長兼務）が委員として新たに加わることの報告があった。

### 議題

#### 1. 報告事項

- 1) 2016年度・2017年度運営目標  
・2016年度および2017年度の運営目標について福水特別顧問より説明があった。2017年度運営目標については、広島YMCAが2017年度からの4年間、中期ビジョンを推進していく中で特に全国のYMCAが取り組んでいくブランディングの推進を大きな目標として掲げている。
- 2) 2016年度 自己点検・自己評価結果について  
・福水特別顧問から常勤教職員30名に実施した自己評価表とその自己評価表の結果をまとめた自己評価結果報告の資料の説明があった。
- 3) 2016年度 学生の実態・満足度調査結果について  
・福水特別顧問から2013年度以降卒業生のみを対象に「卒業時満足度調査」として、15項目についての調査を行っていたが、2016年度は調査項目について検討を行い、学生の実態も把握できるよう「学生の実態・満足度調査」として25項目を設定し、全学科、全学年に実施した学生の実態・

満足度調査の結果の説明があった。

## 2. 審議事項

### 1) 上記報告事項についての審議

- ・委員から運営目標については数値目標を入れた方が良いのではないかと。また運営目標に対して総括はしているのかという質問があった。  
→総括については年度半ばで中間総括、年度終わりに年度総括をしている。数値化についても今回の資料には明記されていないが、数値化できる目標については数値化し評価している。
- ・委員から自己評価結果報告の資料は誰が文章化したのかという質問があった。  
→自己点検・自己評価委員会および運営会議にて協議した結果である。今回の結果報告はカテゴリごとではなく、全体の結果を踏まえての報告書としたが、委員の皆様の見解をいただきたい。
- ・委員からは自己評価結果報告はカテゴリごとに評価を行い、最終的な総括として今回提出された報告書をHP等に掲載すれば良いのではないかと。やはりカテゴリごとの評価の方が分かりやすく見る側にとっても親切ではないかという意見が出た。また、以前に比べ、資料がグラフ化されており、大変見やすくなっているとの評価をいただいた。
- ・委員からは自己評価結果報告のコメントが課題や反省ばかりになるのではなく、どんな成果があったのか分かるようなコメントを追加したらどうかという意見があった。
- ・委員からはアンケートの設問を変更すると、他校との比較が難しくなるので、あまり設問内容を変更しないで、しばらくはこの項目を実施した方がよいのではないかと意見が出た。
- ・本校の卒業生でもある委員からは、卒業生の社会的な活躍および評価を把握しているか等、卒業後に関する設問項目の評価が低いのが気になるとの感想があった。
- ・委員からは教員の実態が顕著に表れている自己評価結果であることを再認識し、学校内の問題点に気づき、今後改善していく機会にしていけば良いのではないかと意見が出た。
- ・委員から英語の授業がどの程度あるのかという質問と合わせて、岩国市は米軍基地もあり、外国人の方が医療機関を受診するケースが多いので、英語が出来る看護師が就職していただくことは地元のニーズにも合っており、そういった学生を育ててほしいとの要望があった。  
→保健看護学科は1年次通年で英語1コマ、看護学科は1年次前期で基礎英語、2年次前期で看護英語を各1コマ実施している。看護学科の講師は広島YMCA外語学院から外国人講師に来てもらっている。また英会話サークルがあり、岩国基地等から外国人講師に来ていただき活動を続けている。
- ・委員から現在の在籍数に関する質問があった。学生確保のためには将来像を明確に示す必要があることや経済的な支援を具体的に示す必要があるのではないかと意見が出た。

- ・委員から学生の実態・満足度調査の設問項目は学生の声を反映させているのかという質問があった。  
→設問項目は、大学等で実施されているアンケートを参考にしながら、自己点検・自己評価委員会で決めている。現在はアンケート項目について学生の声は反映していない。ただし、自由記載欄を設けており、そこに学生たちが自由に意見を書いている。その意見に対し、学校側は可能な限りで回答（改善）をしている。例えば、コピー機の料金を10円から5円に値下げするなど学生の要望に答えている。また、アンケート集計結果も全学科の掲示板に掲示し、情報公開をしている。
- ・他の委員からも学生の実態・満足度調査の設問項目を決める上で、学生の声を取り入れる必要があるという意見が出た。この委員は、中学校勤務時代に、生徒会の生徒を中心に意見を出してもらい、アンケートを完成した実績を報告された。  
→次回のアンケートから学生たちの声も聞くこととした。
- ・委員からは学生の実態・満足度調査と教員の自己評価表の設問項目に共通のものと良いのではないかという意見が出た。

## 2) その他

- ・次回の委員会については、11～12月頃を予定している。改めて日程調整をさせていただく。

以 上

## 2017年度 第2回 学校関係者評価委員会

日時： 2017年12月22日（金） 15:00～16:40

場所： 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 1階 会議室

出席者： 柏村 雅実 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 卒業生保護者  
浴森 公子 岩国市医療センター医師会病院 看護部長  
白銀 優子 岩国中央病院 総看護部長（本校看護学科第3期卒業生）  
山崎 幹 岩国第一病院 事務部顧問  
半田 達也 介護老人保健施設 みどり荘 事務長  
福水 美恵 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 特別顧問・校長補佐  
江見 享子 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 副校長・保健看護学科学科長  
金澤 暁民 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 自己点検・自己評価委員会委員長  
沖島 均 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 事務長

進行： 福水 美恵

記録： 沖島 均

配布資料： 1) 学校評価（自己評価表評価基準）

2) 2016年度岩国YMCA国際医療福祉専門学校 自己評価表

3) 2017年度自己点検・自己評価委員会の目標の中間評価

4) 2017年学生の実態・満足度調査

### 議題

#### 1. 報告事項

1) 平成29年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」事業 専修学校職業実践専門課程（介護分野）第三者評価受審について

・福水特別顧問から10月16日に審査員および事務局スタッフの計4名が本校を訪問され、当日の審査内容についての報告があった。今回の第三者評価は認定証が発行されるものではない。

2) 2016年度の学校の自己評価・自己点検結果のHPへの記載

・前回の委員会にて自己評価・自己点検結果の資料がアンケート結果とコメントで別々の様式になっていたが、一つの様式にまとめた方が良いという委員の皆さんの意見を反映し修正をした。既に本校のHPに掲載済である。

・委員から、卒業生への支援体制についての質問があった。支援窓口の有無、具体的なフォロー体制の有無について聞かれた。福水特別顧問から支援体制の現状について説明があった。また今後はSNS等を活用した支援体制を検討することや同窓会との連携の難しさについての報告もあった。

・卒業生の支援体制について、他の委員からはHP上に「卒業生窓口はこちら」という表記（コーナーを作成）を行い、卒業生を支援しているという姿勢を見せたらどうかという意見も出た。また卒業生の活躍をHPで公開し、もっとPRをすべきとの意見も出た。

・委員から評価が低かった項目の理由を把握しているのかという質問があった。この質問に対し、福水特別顧問から把握はしており教員へのフィードバックもしているとの回答があった。

## 2. 審議事項

### 1) 学校の自己点検・自己評価基準の作成（案）について

- ・金澤自己点検・自己評価委員会委員長から専修学校の評価基準（ガイドライン）を参考に作成した自己評価表の評価基準について説明があった。
- ・委員から以下の質問が出た。
  - この評価基準は他校との比較をする上で同じ評価基準になっているのか。
    - 評価項目は専修学校の基準どおりである。評価基準は本校（自己点検・自己評価委員会）でアレンジしている。
  - プレテストはしたのか。 → 委員のみがした。
  - 到達度の基準は誰が決めているのか。 → 学校独自で決めている。
  - 毎年運営方針は決めているのか。 → 毎年決めている。
  - アクティブラーニングの取り組みはどうなっているか。
    - 時間的な制限があり積極的には取り組めていない。
- ・委員からは自己評価を毎年やりながら到達度を上げていき、そのことで基準値が上がっていくことが望ましいとの意見が出た。
- ・他の委員からはこの自己評価は自分自身を評価するのか、それとも学校全体を評価するのか、評価項目が混在していて分かりにくいとの意見があり、あくまでも学校全体を評価すべきであるとの意見が出た。自分自身を評価するのではないので教員の意識統一が必要であり、事前説明が大事であるとの意見も出された。

### 2) 2017年度学生の実態・満足度調査（案）について

- ・金澤自己点検・自己評価委員会委員長から質問項目は昨年とあまり変更していないとの説明があった。最後のその他の項目に、「卒業後、岩国市内あるいは山口県内での就職を希望しますか」という質問を追加した。この質問項目は今年度起ち上げた地域貢献協議会の話し合いの中で出た要望事項を反映させたものである。
- ・委員から、学校の教室等の環境（清潔さ、広さなど）に対する質問項目があるが、例えば教室等の広さについては今さら応えられないのではないかという意見が出た。それに対し、福水特別顧問から、出来ることと出来ないことがあるが、今年度もコピー代の値下げ、視聴覚教室のカーテンのクリーニング、清掃器具の改善等に取り組んでいるとの説明があった。
- ・委員の皆さんからは今回提出されたアンケート項目で承認を得た。

### 3) 自己点検・自己評価委員会の目標に対する中間評価

- ・福水特別顧問から中間評価の説明があった。今年度はここまでも様々な取り組みを実施し、特に国際交流についてはモンゴルスタディーツアーの実施や広島YMCA留学生のとの交流会等、工夫を凝らしている。ただ予定していた留学生との交流については台風接近のため中止となった。その他にも新たに始めたYYカフェ（認知症カフェ）やしらかば園に通う利用者による玄関ガラス扉へのイラスト制作の紹介や施設・設備の整備状況について説明があった。多くの取り組みを通して地域や外部の方に本校を知っていただき、また館内に入っただくことで学校の認知度を上げ、地域貢献につながることを目指していく。